

# 「平和の波」行動 坂出と高松でリレートーク

坂出市原水協は3日、平和の波行動として日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求める署名に取り組み、横断幕やプラカードを掲げて宣伝しました。高松市原水協も6日、同様の取り組みを行いました。



坂出原水協の富岡利昭事務局長は「核兵器の被害を受けた国民として、いち早く核兵器禁止条約を批准するべきだ。批准する政府を早く誕生させよう。核兵器廃絶のリー

連事務局長、藤沢やよい高松市原水協理事（日本共産党高松市議）らが、政府に禁止条約の批准を強く求めました。

## 平和行政アンケート

香川県平和委員会は2日、県内の各自治体への平和行政推進に関するアンケート結果をまとめて公表しました。

### 三豊市後援会 総選挙勝利を決意

香川県の日本共産党三豊市後援会は7月28日、決起集会を開き、白川よう子衆院四国ブロック比例候補、尾崎淳一郎香川3区候補、岩田秀樹市議が総選挙躍進への決意を述べ、三豊市業者後援会を代表して近藤哲三さんが期待を込めました。

いた時の思いに触れ、「命を守る政治を一緒につくりたい。命は何物にも代えられない。命をないがしろにする今の政治を変えたい」と力を込めました。



## コロナ検査の徹底を 感染拡大で知事に申し入れ

日本共産党の香川県委員会と県議団、白川よう子衆院四国ブロック比例候補は7月27日、浜田恵造県知事に対し新型コロナウイルス感染の防止と真民の命・暮らしを守るための緊急申し入れを行いました。

## you気 りんりん

## 白川よう子

四国ブロック国政対策委員長

全国的に台風や豪雨災害に見舞われ、コロナの感染拡大も深刻な事態に陥っています。皆さんの地域はいかがでしょうか。困ったことがあればお近くの党員や、党事務所にご一報ください。

それにしても気候はあまりにも異常。先日、北海道に住む友人が送ってきた「今朝の稚内は2・6℃。128年ぶりの強い冷え込み」の便りに驚きました。今を生きる私たちが具体的な行動を起こさなければ、人類は存続できなくなるほど地球は危機的状況です。しかもその取り組みはこの数年が勝負で

められるようより詳細な情報提供を国に求めること。集団接種会場の増設▼支給が遅れている県独自の時短協力金（第2次分）の速やかな支給、申請手続きの簡素化等です。

です」と求め、樫氏は、病院関係者から聞いたワクチンの量が少ない状況について「どのくらいの量がいつ入るのか、病院にスケジュールを明確にするようすべきだ」、秋山氏は、個人事業から聞き取った時間短縮への協力金の支給が遅れている状況を説明。早期支給を求めました。

での気候危機を作り出したのは私たちです。ルールなき資本主義とまで言われる日本の二酸化炭素排出量は世界第5位。責任は重大です。石炭火力発電や原発にしがみつき、ドイツの8倍とまで言われている日本の再生可能エネルギーの可能性にふたをする。これでは責任を果たせません。



人類の存続がかかっている問題に、真剣に取り組もうとしない菅政権の異常さは、この分野でも浮き彫りです。地球のためにも政権交代を！11日に高知のひろめ市場前で行われた「8・11メモリアル宣伝」でも、このことを強く訴えました。

## 市民プール改修し早期再開を

高松市の市民プールの存続を求める会は7月28日、「急ぎ修繕を行い、今夏も市民プールの開設を求める申し入れ」を行いました。日本共産党の岡田まなみ、藤沢やよい両市議が参加しました。

市は、プール開設直前に電気系統や循環ろ過設備に不具合が生じたとして市民プールの営業を取りやめました。市は新年度になって準備を進め始



に達しました。浜田知事は「感染拡大の度合いはこれまでで最大。ピークが予想できない」と懸念を示し、14日にはまん延防止重点措置を国に要請しています。

県の施設は土日を中心に休館や休園をしていましたが、全日に強化。市民団体等の催しにも影響が出ています。

《訂正》 8月1日号1面の白川氏の「犠牲を獲得して」とあるのは「議席を」の間違ひでした。訂正します。



めた経緯を説明。「循環ろ過設備の入れ替えに相対時間が【4面につづく】